
しろはく活動記録

古地図と城の泉 第55号

来年戊辰戦争150年記念展各地 『晴清忠義伝』実は高遠城戦記

平成29年12月1日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

城郭現地調査報告及び資料調査 博物館事業報告

1・平成30年は戊辰戦争150年ということで、各地で記念展が開催される。

NHK大河ドラマ八重の桜で会津若松城下絵図屏風を安中市学習の森と福島県立博物館で公開して以降、なんとなく會津びいきである。本企画も早く、今年夏ごろから話があり、このほど企画書が送られてきた。会場は新潟県立歴史博物館、福島県立博物館、仙台市博物館。新潟はお伺いしたことはないが、福島は会津若松城、仙台は仙台城内である。期間は新潟が7月14日から8月26日、福島が9月1日から10月14日、仙台が10月26日から12月9日を予定されている。

展示構成は政局幕末の京都と松平容保、開戦直下の鳥羽伏見、転換奥羽越列藩同盟結成、展開北越東北戦争、敗戦降伏謹慎復興の各様となっている。安中市学習の森で平成25年に八重の桜に関連して、会津若松城下絵図屏風展を開催した際。展示で表現しようとしたのは会津の心であった。容保に、戦った人々に、くじけず再興した会津の町に共感した。屏風とともに若松城絵図を、会津が取り組んだ日新館の砲術を、海防を担当した江戸湾の台場を、御守護職で在京した都の町並を、戊辰戦争の錦絵類を、復興した会津を始めての実測図である明治35年の農商務省測量図で眺めた。そこに描かれた逞しい会津の人々の姿に共感した一時、であった。

前回の安中の展示は富原文庫の所蔵資料のみで構成し、今回再び貸出公開するものも多い。ただ、今回は規模を拡大して全国から戊辰戦争資料が集積される。再び、当時の熱い思いを感じることができることに興奮を覚える。来年7月からですから、1年も前から取り組んでおられることにも、驚きました。成功を祈ります。同様展示会は各地で検討されているようです。

2・『晴清忠義伝全』写本調査 内容は高遠城戦記でした。類書不明。

武田三代軍記巻22に信州高遠の城落城仁科薩摩守晴清生害の事 晴清は信玄の五男、勝頼の弟、高遠城主仁科五郎盛信。

晴清忠義伝並序・仁科家来之事・信盛素性之事・織田家乱入之事・兄弟恩儀之事・信忠説客の事・小山田大学箠城の事・城中軍議之事・高遠城責の事・岡城現神之事・高遠記之事

慶応2年正月上殿鳴村唐澤品吉郎写之 11行細密本37丁写本 高遠城戦記のみを1冊にま

とめた類書はあまり見ない、武田三代軍記や甲陽軍鑑を始め関連古典籍を検証したい。数年前、伊那の三洋グラビアさんみまよせホールにて、長野の城郭絵図展を開催し、約2週間滞在しただけに思いは尽きない、その間、岡谷の宮坂武男先生に会場いただき、作成された縄張図と伊那伊豆木の甲州流軍学者の200年前の調査絵図を比較展示、NHKの昼のニュースで報道いただき、研究者が多く会場いただいた。伊那ケーブルテレビさんを高遠城跡に案内し、住宅地図に城地図を浮かび上がらせたり、陸軍省城絵図長野県10城を公開、高遠城絵図の検証作業で現地縄張図調査実地、縄張図は後に検証報告と一緒に『富原文庫蔵陸軍省城絵図』に収録した

3・絵葉書に現れた幻の稜堡城郭、明治2年宮崎県佐土原町広瀬城、広瀬陣屋、広瀬藩庁

本遺構については1980年の日本城郭大系宮崎県広瀬城に「150x150cm、日向地誌、佐土原藩史、島津義寛が佐土原城を廃して明治2年に築城して、同3年に移った。同4年尾廃藩で廃され、さらに最近の開発ではほとんど所在を失った」とある。

森山英一先生の明治維新廃城一覧1989年には「広瀬藩庁2万7千70石余、明治2年佐土原藩知事島津忠寛が藩庁、居館を築き、同3年8月佐土原城を廃し移転。廃城後、建物は払下げ取壊し。現況藩庁跡は耕地等となり、遺構なし。」とあり、2002年城郭陣屋要害台場事典の広瀬陣屋には佐伯史談会の小野英治さんが「広瀬陣屋は佐土原城主島津義寛が明治2年、佐土原城を廃して広瀬に150m四方の館を設けたが4年廃藩置県となり、未完成のまま取り壊された。(中略)現在陣屋跡は広瀬小学校や宅地となり当時の遺構はない。」といずれも、数行の記載にとどまり、遺構の消滅を伝えている。そこには稜堡城郭等縄張の片りんも記載されていない。

絵葉書に現れたのは、広瀬知政所(広瀬城)広瀬史談会と題する、稜堡城郭である。データのみであり、画像が不鮮明であるが、見事な稜堡城郭である。ただ、これが航空写真であれば、いいのだが、どうも復元絵図のように見える。復元図とすれば、根拠は何であろうか。各所の遺構壊滅の情報と比して、大いに気になるところである。





4・古河城修理絵図や支那城郭の概要 入札で落札できず

前号で萩城修理絵図入手の報告をし、今号で古河城修理絵図を思ったが、残念ながら落札できなかった。30年前のバブルの絶頂期には貴重な絵図が多く出たが、今はほとんど出ない。それだけに東京まで実物を視察に出かけたが、2枚の内1枚は欠落があり、購入意欲をそがれた、其れでも相当高額で挑戦したが、地元関係者に落されたか、出品者の希望価格に届かなかったものと思われる。10年ぐらい前、テレビ東京の希望でなんでも鑑定団に始めて城絵図を出すことになり、安土城絵図や小谷城絵図、吉田城絵図と姫路城他5点の修理絵図を見ていただき、修理絵図を出すことに決まった。鑑定額は300万円だったが、昔は確かに高かった。20年以上前、前橋城の修理絵図を地元業者さんに100万円で持っていかれたが、いくらで売れたのであろうか？取り逃がした魚は何時までも記憶に残る。修理絵図がいくらでも出た時代であった。

ちなみに、古河城修理絵図の概要は寛保元年と2年、修理願控図 90 x 66 cm

寛保元年は袋に「控 下総国古河城絵図 本多中務大輔」とあり

本紙に寛保元年九月 本多中務大輔 下総国古河城土居崩破損所 二之丸北方土居崩壊ケ所築直之如元修補仕度奉願候以上 とある

寛保二年は袋に「控 下総国古河城絵図 本多中務大輔」とあり

本紙に寛保二年九月 本多中務大輔 下総国古河城破損□覚 とあり、地震によるものか破損は全城域に及び、19か所の場所と間数を一覧し、図中に30か所ほどを明示するが10か所ほどは文字のみ一紙欠落している。

用いられている絵図の雛形は同一絵図である。

他にも武蔵国入間郡川越城之図、甲府城絵図を入札したが、取れなかった。

支那城郭之概要は昨年、20年ぶりに見たが、これも取れずに見ていたら、某書店で3444000円で売りに出た。修理絵図も業者さんお落札もしくは出品者の引きであれば、いずれ市場に出るとされる。地元行政の落札であれば幸いである。

5・誰もは熟知している古典的名著 小野清著『大坂城誌』

明治32年11月3日刊、和装本活版印刷、出版社の記載はない。巻首の日本城郭誌と大坂城

誌上中下で計4冊となる。決してめずらしい書物では無いが、軍部の著作以外には成果の少ない当時の城郭研究としては白眉である。徳川制度史料という江戸城に関する著書もある、復刻もされているが、著者の小野清についてはよく知られていない。大阪府立中央図書館のレファレンス事例によれば、「徳川制度史料の序文に仙台藩士、80歳余、没年は昭和7年、国会図書館の目録では弘化3年1846年生まれ、著者名典拠録では幼名勝次郎、通称伊右衛門、字子肅、静肅、大阪衛生試験所勤務とあります。」いずれにしても、謎の人物に近いですが？

日本城郭誌巻首だけでも以下が収録されています。おどろきです。

自序 寿永から元和436年間廃城1828、元和以降諸侯276、城主176人、幕府直轄6城、城郭の数182、

慶応3年現在城郭陣屋幕府諸大管轄種別及び明治6年公定存城表・慶応3年幕府並城主大名城主格大名ノ城郭位置総覧図・自治承至寛永廃城表・慶應3年現在城郭要害陣屋表・慶応3年現在城郭要害陣屋並二明治6年公定存城総覧表

新収集情報報告

掲載は入手順に入手後、翌日に記載しています。メモ代わりの備忘録ですので順不同です。

掲載分類は城郭図、城郭錦絵は城郭、群馬地図、資料は群馬、錦絵地図は錦絵、地図類は航空写真も地図、錦絵軍事、砲術、調練は軍事、後はタイトル通りです。

1・古絵図・古地図

鶴岡市案内図 昭和7年 小池繁松 エビスヤ書店 裏商店広告32件

最新広島市街地図 昭和3年 駸々堂旅行案内内部

旅順激戦パノラマ図解 浅草公園日本パノラマ館 明治28年

北日本汽船(株)樺太航路地図 本社樺太大泊栄町 50万分Ⅰ **樺太庁命令航路東海岸線・西海岸線・伏木樺太線・逋信省命令航路青森室蘭線** 起点・月運行回数・日時・使用船・経由地・発着時間記入 刊記無

市制記念瀬戸市現勢全図市外品野町 5000分Ⅰ 昭和5年 裏広告数100件

最新地番入新京市街地図 康德6年満州国年号1934年から康德6年は1939年

1万分Ⅰ地形図御影・芦屋 昭和31年 地理調査所

5万分Ⅰ地形図京都大坂希望、名古屋近傍、和歌山近傍12枚 昭和24年頃

堺絵図 木版色刷 南半分のみ 堺港南北御台場、周濠、仁徳帝陵、米市場、魚市場等記入

再刊改正広益御江戸絵図完 寛政8年 2色刷

上海 報知新聞附録 昭和7年

50万分Ⅰ地方図北海道2 北方4島、北海道東部

20万分Ⅰ地勢図北方4島部分8枚揃い 昭和46年

2,500分Ⅰ地形図東京千葉横須賀大多喜地区16枚 昭和58年

日本商工業明細図萩市 東京交通社 昭和29年

上海附近要図 昭和7年 小林又七

樺太南部交戦経過地区図 明治39年 小川一真

嘉永7年霜月4日大地震大阪市中破損 瓦版 木版2色刷

最新版高松市街地図 昭和6年 古市秀雄

時局上海附近詳図 昭和12年 平田重三

観光の彦根 彦根市 谷沢一郎 鳥瞰図

瀬戸市勢要覧・瀬戸市全図 昭和2年

昭和7年町勢一班・横須賀町全図 愛知県知多郡横須賀町
船川港町勢要覧昭和5年度 9000分一
新撰若松市全図 岩代會津 加藤長四郎 大正6年 加藤商店
改正新刻甲府市街全図 5000分I 明治45年 山梨図書出版協会
最新奉天市街図・奉天鉄道付屬地改正地番入町名図 大正10年 植田梶太 山陽堂書店
大津坂本市街地図 木版 嘉永2年 村上平右衛門
最新大日本県別図伴市町村名大鑑 昭和8年 日下伊兵衛 日本研究社 台湾・朝鮮・満州・樺太・南洋・沖縄・北海道他全国
各地区商工案内、市勢要覧、県勢要覧、案内記、産業案内等8冊
第二北海道移住手引草 北海道庁殖民部拓殖課編 明治34年
花巻温泉遊園地御案内・花巻温泉遊園地図絵 大正15年 盛岡電気工業(株) 鳥瞰図
花巻温泉遊園地図絵 常光 大正14年 盛岡電気工業(株) 鳥瞰図
改正小樽区之図 小樽新聞社 戦前刊記無
豊橋市街図・豊橋市勢要覧 昭和14年
大日本職業別明細図杉並区 昭和11年 東京交通社
青島市街図 博文堂書店 刊記無
小倉市及附近略図・福岡県小倉市街図6000分I 戦前
日本商工業別明細図門司市 昭和26年
最新大呉市街全図 昭和6年
東京湾第2次改訂港湾計画平面図 港湾局業務用資料図 昭和41年
戸畑区地図 昭和13年 木村好兵衛 図書撰推会
函館市街全図 明治29年 鹿野忠平 学友館
宇治山田町古絵図 大型彩色写図
伊那町勢要覧1951 昭和26年版 都市計画図入り 広告多数
旅順包囲攻撃図 大阪毎日新聞附録 明治37年7月
哈爾濱案内図 昭和14年 日信洋行
千曲川通亀絵図面 安政5年 論処絵図 松代藩眞田信濃守 彩色絵図
新板大坂之図 明暦3年複製 手彩色
姫府船場八景 天保己亥夏日新鑄 天保10年1839年 木版 嶋琴陵道人画・著古斎有名作 姫路船場米田町樊圃老舗蔵板
日本商工業別明細図さつぽろ 昭和32年 東京交通社
津市全図 昭和26年 東亜印刷 20000分I
福島市地図 8000分I 富士波出版社 刊記無
津市中心部・一身田・白塚・久居 7500分I 刊記無
札幌市街図 17000分I 富士波出版社 昭和20年代
分間懷宝東京絵図全 明治3年 須原屋茂兵衛 木版色刷 袋付
平戸町全図・北松浦郡全図 大正5年 庭木庄太郎 鏡江舎
山城国綴喜郡男山八幡宮全山図 明治11年 辻村豊富 銅版
信州善光寺境内附市中細見 明治15年 銅版
磐梯山噴火実図略歴 明治21年7月15日実況絵図
北越の全景 木版
明治改正東京全図全 明治25年 東京独案内

地図絵葉書 新領土朝鮮地図・初三郎熱海温泉鳥瞰図・新田丸航路図・大正15、16年遠洋航路記念・別府温泉場及附近名所案内図・昭和11年陸軍特別大演習記念北海道・神奈川県施行京浜国道改修平面図・箱根山総地図・箱根関絵図・赤城登山略図・西多摩郡総図・早池峯登山案内図・県立長岡中学校運動場・高松琴平ちかみち電車・武蔵妻沼聖天山全景・奉天附近之部エンボス・東京平和博覧会全図・宇部都市計画図・山形県新築之図（錦絵）・亜欧一路日満亜欧連絡航路・塩原日光・熱田神宮全図・初三郎志摩電鉄沿線風光図・会津若松白木屋漆器店（鳥瞰図）・日光自動車定期乗合路線案内図2種・全国産業博覧会山形市主催・満州鉄道図・武州高尾山全景・8年11月軍艦八雲遠航記念・日本新地図朝鮮台湾樺太千島・富士山頂上実景エンボス・昭和11年陸軍特別大演習北海道・

地図文献 北差聞略昭和14年・南シナ海水路誌第1巻昭和43年・

2・古典籍・古記録

新撰算法早学早割 明治11年 銅版画帖 11丁

3・印刷資料

近世日本国民史普及版完成記念 徳富猪一郎原稿、写真、署名、蘇峰大型角印 蘇峰学人用箋

4・錦絵・引札・双六・絵葉書・古写真

竹久夢二名作カード特別刷★・★★2冊 龍星閣 全24集絵葉書192枚収納

マッチラベル東京銀座、新橋 104枚1冊

錦絵鹿兒島士族熊本城争戦之図 周延・橋本直義 明治10年3月 3枚続き

錦絵征韓論之図 周延・橋本直義 明治10年7月 西郷隆盛等 3枚続き

錦絵官軍城山を攻破りて敵を岩崎谷に追詰諸隊一斉に激烈の攻撃云々 明治10年12月 鹿島周次郎・年雪 3枚続き

錦絵西南雲晴朝東風 役者絵 明治11年3月 富川周重 3枚続き

錦絵八百屋お七 国周 3枚続き

錦絵秩父重忠 国周 両国加賀屋 3枚続き

錦絵役者絵伊賀仇討又五郎 国重 背景に伊賀上野城 3枚続き

錦絵役者絵二組 国周 3枚続き

錦絵山川振分雙六 一陽斎豊国 伊勢屋兼吉 山13景川12景

蕎麦絵巻 全5巻5冊 昭和43年 500部限定本

引札 宮田喜多屋醤油店 5種弁慶義経三条大橋・赤穂浪士・養老孝子・二宮尊徳・楠正成

錦絵文治三年奥州高館合戦の時武蔵坊弁慶云々 芳虎 3枚続き

錦絵川中島両将直戦図 国芳 3枚続き

版画都名所 富吉郎 12枚揃い 葉書サイズ木版色刷 額付

錦絵蚕養草2種 櫻齋房種・綱島亀吉 明治20年

コレクション 22満州玩具の即売会・40有馬郡名塩紙の号・51出雲の模様紙・52富山の産紙貼込号・64吾八の千代紙 昭和15年、16年

5・軍事資料・武器武具

後備軍司令部条例・陸軍武官休暇規則・陸軍士官学校条例・陸軍刑法・陸軍下士服役規則・明治17年陸軍教導団歩砲両兵科及喇叭生徒入学検査格例及志願者心得 明治16年

大東亜戦史 全10巻10冊2種20冊

砲術図説 安斎実 日本ライフル協会

日清戦争絵報 第4号・第5号 平壤大激戦

6・城

3層櫓有田焼ボトル 1 1 個 写真は9個



海津城事蹟 写本 享保13年までの海津城歴史書 13行本7ページ

関野準一郎版画 岡崎城 木版色刷

昭和六年十一月大阪城新天守閣記念豊太閤一代記燐寸ラベル 大阪燐技好友会 木版色刷 12枚揃い 政田富久松作大阪の築城他

城郭研究家中川治雄調査ノート 松本城等の著作がある中川氏の山城調査記録である。お付き合いがないので、よくわかりませんが、松本城周辺の著書を多く残されています。村田修三、藤井尚夫、宮坂武男等の成果も収集されているが、自身の縄張調査もされている。山城略測図と書かれたファイルに記録は50城になる。日本城郭大系の原稿とも思われるが詳細は確認できていない。

上伊那郡高遠町兜城公園風景 明治32年 上沼米たろう 石版 高遠城沿革



明治31年の高遠城跡の景観

福山城の図 初三郎謹作 広島県鳥瞰図表紙 昭和5年

第24回全国山城サミットポスター 唐沢山城絵図入り 11月26日

城郭絵葉書 小田原城址・大垣城（天守）・濱松史蹟名勝城趾天守閣（天守台石垣のみ）・上杉謙信公古城址春日山・同古城趾春日山全景・熊野名勝丹鶴城址遊園地・水戸旧城跡（二重櫓）・江戸崎城趾ヨリ霞ヶ浦遠望・甲斐舞鶴城（天守台尾建築群）・国宝福山城天守閣・同全景・同伏見櫓・同御湯殿・太田名所金山古城跡大櫓・播州赤穂赤穂城大手門・同赤穂城趾・同浅野家時代赤穂藩図・同元禄時代赤穂城之図・石井山秀吉陣地より見たる高松城址全景・桜花に埋まる松江城（天守）・萩名所萩旧指月城天守閣址（天守台）・山内一豊の築城せる国宝高知城天守閣・岐阜名所岐阜城跡

模擬城・玉藻城（三層櫓）・岡山城・福井城址・吹揚公園城跡の面景（今治城）・観音正寺佐々木城址記念碑・広島大本営構内旧広島城天守閣・静岡名所駿府城跡・彦根城趾（天守）・越中名勝富山城趾・高田旧城趾内濠の景・

大垣の名所（天守閣・大垣公園の一部・郭町大通り等）・海津城趾（川中島古戦場・真田家菩提所・皆神山・松代町全景・象山ノ遠望）・国宝姫路城 6 枚・大阪城観覧記念 8 枚・観光の宇和島・下田城山ホテル 4 枚・

城帯各種 プラチナ箔名古屋帯 帯コレクション公開



プラチナ箔

レインボー

金欄

その他

城郭文献 日本城郭建築図集・古渡城跡・史跡和歌山城整備計画報告書平成 28 年改訂版・北海道道南の陣屋と台場改訂版・幕末明治の古写真展横山松三郎江戸城・那須周辺の近世城郭を考える資料集・ひろしまの遺跡を語る城館研究最前線発掘城館から探る中世社会記録集・史跡桑折西山城跡発掘調査総括報告集・水口岡山城跡第 3 次発掘調査・赤沢城跡新潟県津南町・松江城と江戸城・伊丹にお城があった頃・明石の中世Ⅱ戦国時代の城館・小田原北条氏の絆小田原城と其の支城・愛城研報告第 21 号・中世城郭研究第 31 号・第 34 回全国城郭研究者セミナーシンポジウム幕末の城・戦乱の空間第 16 号・戦国時代の西尾城・中世那須のあけぼの那須神田城を考える・祇園城跡Ⅳ・佐野の城館跡唐澤山城と其の支城・絵図と地図に見る館林・文政年間忍城図・忍城今昔地図・行田市郷土博物館研究報告第 8 集近世近代の忍城下忍城の廃城について・江戸湾沿岸警備と忍藩・山形の城縄張調査から山形の城を考える・水辺の城手賀沼沿岸・川中島の戦い新潟県立歴史博物館・安土城郭調査研究所研究紀要第 9 号・10 号・11 号・福岡県の城戦国乱世の城から幕藩体制の城へ福岡県中近世城館遺跡等詳細分布調査事業完了記念九州歴史資料館第 42 回企画展・中世城郭の研究Ⅰ日本学士院紀要 23 号抜刷・備前岡山城昭和 9 年・伊那の古城 1971 年・江戸城風雲回顧録昭和 6 年・群馬県玉村中世史研究第 1 号特集環濠集落と城館・群馬県立歴史博物館紀要第 37 号上野国神保植松城の総合的考察他・出石城と町並み保存・東北函館の城と史跡を訪ねて・名古屋城博報告書・秋月城下町遺跡Ⅰ・Ⅱ・信州の山城城跡と古戦場を歩く 2007 年・秋田城発掘調査概報昭和 49 年・52 年・53 年・騎西城武家屋敷跡・騎西城武家屋敷跡中近世編・騎西城武家屋敷跡騎西城跡多賀谷氏館跡・千曲之真砂全 10 巻 2 冊蓑原拾葉第六輯第七輯・南佐久郡古城址調査・定本日本の城井上宗和・名城をたずねて井上宗和・天守閣再建記念鶴ヶ城の見所・定本北信濃の城 1996 年・沼津市史別編絵図集・三枚橋城外堀跡発掘調査報告書・日本城郭誌明治 32 年・大阪城誌明治 32 年・瀬戸内海に関する図書総合目録城の部 1998 年・

購入未あわせ 山形城下絵図嘉永7年簡単検討に値せず・奥州棚倉城下図延享4年城下町図対象外・常州水戸絵図城郭内詳細図ただし、屋敷割中心・金沢城下図詳細であるが、新規性は無さそう・多聞山城縄張図縄張図とは言えない期待外れ・美作国津山城下絵図大型であるが、簡略・

7・群馬県史料

伊香保温泉繁栄之図 錦絵3枚続き 周延・橋本直義

上州路97冊・群馬歴史散歩93冊・群馬文化62冊 内城合戦関連上州路13冊・群馬歴史散歩24冊・群馬文化24冊

群馬県立歴史博物館常設展示見学のしおり **群馬県鳥瞰図昭和11年縮小復刻**

以下3通は貞享から元禄にかけての上州高崎倉賀野河岸をめぐる倉賀野町と玉村の紛争記録である。

乍恐以書付御訴訟申上候御事 上野国高崎領倉賀野町 訴訟人藤右衛門・八左衛門・庄兵衛・又左衛門 船荷物積送申御訴訟 角弥・善右衛門・惣舟持共 一倉賀野河岸之舟数只今大小八拾三艘御 極印奉頂戴御年貢御役（以下略） 貞享2年1685年 倉賀野河岸 御奉行所様

玉村方訴状之写 元禄2年12月12日1689年 乍恐書付を以御訴訟申上候御事 酒井河内守知行所玉村町 金七郎・助之丞・太郎左衛門・訴訟人四郎左衛門・川井河岸作左衛門・五料河岸太郎左衛門・新河岸茂右衛門 上野国馬次舟之出入 安藤対馬守様御知行所倉賀野町問屋善右衛門 相手長太郎・喜平治 奉行所宛 午12月14日1690年 此目安差上候間返答書来未正月14日二評定所江罷出一対斐差於者為曲事者也 美濃・伊賀・安房・飛騨・紀伊・能登・佐渡

返答書之写 乍恐返答書を以御訴訟申上候御事 安藤対馬守知行所倉賀野町 問屋喜平治・同善右衛門・同長太郎・名主籐右衛門・同八左衛門・訴訟人庄兵衛・同又左衛門・同角弥・惣舟持共 上野国馬次舟之出入 酒井河内守様御知行所 玉村町金七郎・助之丞・相手太郎兵衛・四郎左衛門・川井河岸作左衛門・五料河岸太郎左衛門・新河岸茂右衛門 一今度堺河内守様御知行所上州玉村之者御訴訟申上候を玉村之儀八十六年以前伊奈備前守様新田二御取立（以下略） 元禄4年未正月十四日 安藤対馬守知行所倉賀野町問屋喜平治・同善右衛門・同長太郎・名主籐右衛門・同八左衛門・訴訟人庄兵衛・同又左衛門・同角弥・惣舟持共 御評定所様

上州総社城主越中守長朝男藤原泰朝秋元但馬守系図 明和元年当主秋元但馬守涼朝 肉筆 涼朝は川越藩主、後山形藩主

上州草津温泉場之全図 木版 刊記無墨版2枚・藍摺り1枚・嘉永7年改版1枚・

8・その他

あとがき

1・前号掲載萩城修理絵図について、早速、城絵図研究の第一人者、神山仁さんからコメントをいただきました。ありがとうございました。絵図研究の出版、お待ちしております。

今回は、まことに貴重な城絵図を拝見させていただきました。

「正徳2年 萩城修理伺絵図」です。

まちがいなく毛利家から江戸幕府へ提出された清絵図（御本絵図）と思います。

ご指摘のように、小さく簡略的な印象を受けますが

城主の居判が押されており清絵図という格式を感じています。

「伺絵図」（奉伺候）より格上の「願絵図」（奉願候）となれば、さらに彩色美麗でしょう。

堀浚い絵図はおおむねこの様式です。

もっと簡略な下絵図（建物の姿を描かず口など記号化表示）に居判を押すこともあります、

それはもっと時代が下って江戸中期以降のこと。

この時代は、伺絵図であっても格式を備えていることを物語る証です。

さて私ごと。もっか戎光祥出版さんから、来年の発行を目標に

『城絵図探求』(仮題)と題する、城郭修理絵図の研究書を出版すべく

鋭意調査、執筆中でございます。

そこで同書に、本図の所在について、上記所見を述べさせていただくことを

お許し願えますでしょうか。お窺い申し上げます。

2・松井田城講演会・松井田城址保存会発足

此の時期、全国で城の研究会やシンポジウムが開催されている。東京でも群馬から、高速で2時間半(高速まで45分、高速1時間、都内45分)ということで、古書市も含めて参加していない。ところが昨年の岩櫃城に続いて、地元で松井田城の講演会があることを、安中市教育委員会さんに教えていただいた。安中城に続いて、調査したい城が松井田城であるが、この処の体力の消耗ではいかなものか。講師は前回に続いて江戸博の斉藤慎一氏、さすがに一般にわかるようにやさしく説明していた。観客は満席の上に仮設イス増加と盛況であった。何でも6月に発足した松井田城址保存会の主催とのこと、一応入会しておいた。今後の活躍を見守りたい。斉藤氏は30年前大学4年の時に図説中世城郭辞典で群馬を担当し、松井田城を調査したとのこと。こちらは、その頃30代で、転勤で金澤に居り、同辞典の石川県を担当、加越国境の城塞群を始め、多くの城を調査した。22歳の斉藤氏が21日かけて調査した松井田城、70歳では無理かと？

3・京都船井郡和知城競売 三河の和知城跡ではない。

ヨーロッパでよく城が売られているが、日本でも売られていた。もちろん文化財ではなく、天守型近代建築である。意外と安い。競売であるが見積価格は476万円。場所は京都府船井郡京丹波町大迫向山、通称和知城、参加申し込みは11月8日から21日、入札は28日から12月5日、納付期限は12月12日14時。3層櫓で平成4年建築、入札は京都地方税機構。城グッズとしては大きい、城グッズ展示場にはいいかも。関西の愛好家のみなさん挑戦しますか？

真贋はともかく、安土城や聚楽第の瓦が売りに出たり。城の建材が持ち込まれたり、何でもアリかと。大きめの城の模型も多く持ち込まれるが、この処、お断りしている。城グッズでは、この前も3層櫓の酒ボトルまとめて10個ご持参いただいた。持って帰ると同じものが1個玄関の片隅に置かれていた。風呂で洗いきれいにしたが、置く場所に困る。各地で求めた櫓型ボトルや置物は100基以上になるかと。そのうち、日本一の城グッズ展示会でも開催すればいいが、古絵図と違い、割れ物、立体物ということで、梱包や搬入を考えると容易ではない。すべてやっていただけるのであれば、いつでも協力させていただく。

4・安中市学習の森、山本勘助展ポスター

12月2日から2月26日まで 画像右は富原文庫蔵山本勘助築城絵図元軸装

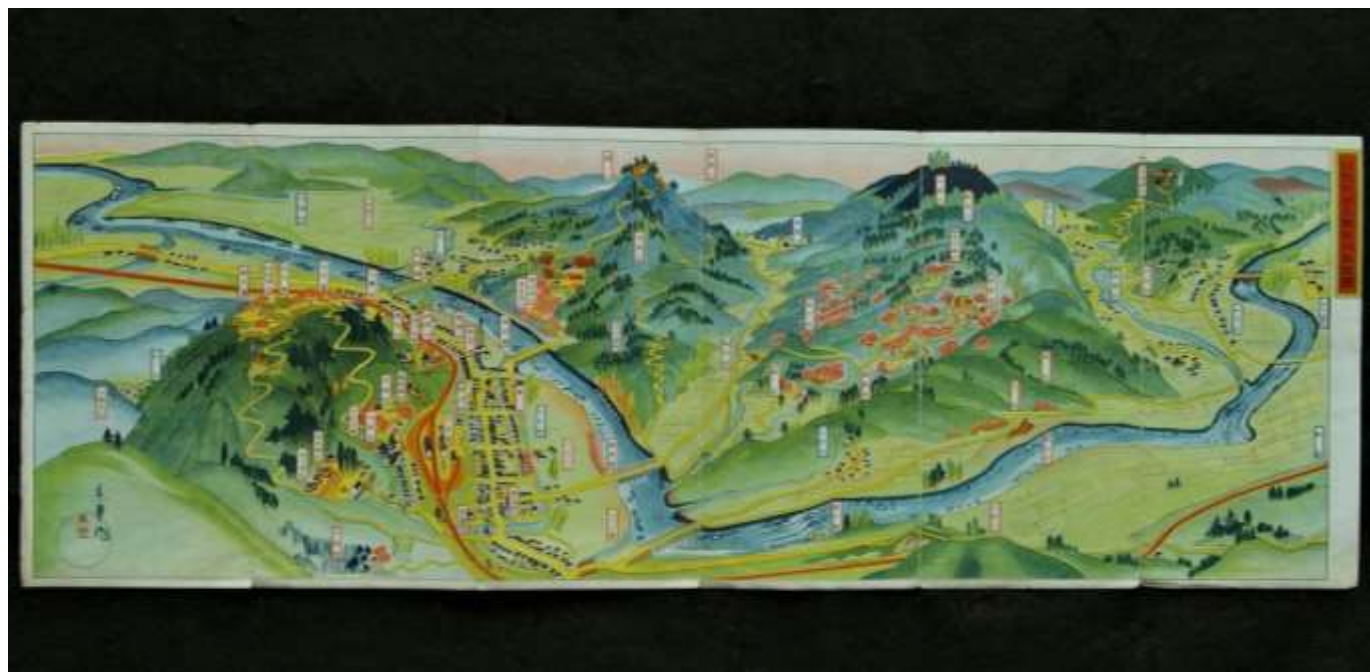


5・竹田城は何時から有名に？



近年、天空の城として、石垣が壊れるほど人気の観光地となった兵庫県の竹田城。私たちが訪れた40年から50年前は研究者以外は訪れることのない静かな城跡でした。ところが、最近、大正から昭和初期と思われる竹田城跡を含む竹田の鳥瞰図を見ることができた。年記はないが、初三郎をはじめ、鳥瞰図ブームであった時代の作と思われる。この時代全国の自治体の要請で初三郎だけ

で約2000枚、常光や他の作家を含めると一万枚近い大正から昭和初期の景観が記録されたように思われます。今回初見の鳥瞰図は中山東華作但馬竹田名勝案内図絵、内題は「但馬竹田名勝案内鳥瞰図」と題し、竹田保勝会の発行です。そこには天空の城にふさわしい情景が航空写真のように描かれています。こちらには、この時代の鳥瞰図も約1000枚ほどありますが、竹田城の景観はこの40年で初見です。おそらく、地元でのみ配布されたと思われる。これらは都市の景観全体を描くもので、城跡のみを観れば粗略の感が否めませんが、この時代の城下町の景観としては、全国規模で貴重な当時の現状を知らせてくれます。



6・第24回全国山城サミットIN佐野

11月16日に版画の会があるとの誘いを受けて、栃木県佐野に出かけた。城の錦絵を数点購入したが、昼過ぎに終了、午後、時間が空いたので、佐野市郷土博物館、行田市郷土博物館、館林市立第一資料館を訪問、山城サミットのポスターをいただきに佐野市観光立市推進課をお伺いし、展示用に頂いた。それにしても、中世城郭が観光対象とはすごい時代ですね、この前の松井田城の講演会も満席でした。

第24回全国山城サミット In 佐野

日時平成29年11月26日土 佐野市文化会館 当日は佐野駅からシャトルバスで10分とのことです。車は東北道佐野藤岡から15分

11月27日日 唐沢山城跡現地見学会

詳細は公式HP <http://www.sano-yamajiro.com> へ

問い合わせ事務局は佐野市観光スポーツ部観光立市推進課0283-27-3011

記念展示会第66回企画展 佐野の城館跡唐沢山城と其の支城展が佐野市郷土博物館で開催され、(12月3日まで)図録が1000円で販売されています。

古城絵図、縄張図、レーザー測量図が掲載されていました。

7・挑戦とはいうのは難し、行うは難しい？

現役時代は30年ほど開発を担当し、文科系でありながら、多くの新技術を提供し、印刷業界を支えてきた。多くの優秀な数十人の技術スタッフに支えられ、世界中の新技術や自ら開発した技術を全国にお届けしてきた。印刷技術改革、環境対策、省人化等々、今も身近に見える物もある。個人で多彩なことに挑戦するスタンスは変わっていないが、スタッフや組織のありがたさが身に染みる。当時のメンバーに変わり、子供たちが支えてくれるが、身近にいるわけではない。おのずと不慣れな事項にくんずねんずすることになる。挑戦するたびに新技術である。スマホのラインに感激し、タイと無料通話。パソコンをいろうたびに初歩的なミス。この前もやっと写真のトリミング方法を探した。当時は隣の優秀なメンバーに一言聞けば解決した。本メールマガジンに不要な画像があるのはトリミングできなかったためである。古典的な技術は蓄積できるが、新技術の習得は頭脳プレーの連続である。おかげで精神年齢は20歳であるが、体力は12月14日で70歳、どう見ても高齢者である。運転免許に高齢者講習がある。おかげで、ほとんど連日、関東平野を飛び回っている。ヤフオクの出品はまだ自分ではできない。ただ、落札は可能で、全国から連日多くの資料を分けていただく。東京古書籍商組合の日本の古本屋サイトは探究書探しには貴重な存在であるが、在庫登録するのに組合に行き、教えていただきようやく200点入力、12月からは1000点に増やす予定である。入力に数か月かかると思われるが、将来は数万点の城郭文献を登録し、世界一の城郭文献古書サイトに成長させたい。これも城郭研究に大きく寄与するものと考えている。アマゾンや外のサイトにも連絡いただくが、対応できない。私事ながら、540あった血糖値も90から150、HBA1Cも12,6から6,7と入院騒ぎからようやく正常値となった。気力、体力、生者必滅の理、最後まで人生挑戦かと。こういう回想していることが、歳かと、多くの城郭世界の要望に応えるに、過去を振り向いている暇はない。出来ることをやるしかない。

8・ミュージアムショップ城郭文庫、ようやく、ネット日本の古本屋参加

城郭資料の全国唯一のコレクターとして60年、42年間の経済人時代は調査研究もままならず、特に在京30年は全国から集まる膨大な城郭資料に対峙した。骨董免許は約30年、古書組合は退任後、入会3年ほどである。東京古書籍商組合に日本の古本屋というサイトがある。今全国の古書業者が約4000点の城郭資料を掲載している。9月に登録したが、実務を任せた子供たちがタイに転居となり、11月に改めて、東京古書会館で資料をもらい、ようやく200点出展した。まだ城は少ないが、12月の骨董市と古書同好会目録、1月の東京ビックサイト骨董市が終われば、集中して城郭文献を入力していきたい。インターネットで城郭文庫を検索していただきたい。又、群馬の古本屋に於いても城郭文庫でウェブ目録を掲載している。ちなみに陸軍省城絵図124枚の一括販売も掲載しています。希望が多いですが、分配は致しません。

9・紅葉の箕輪城見学

急に寒くなり。紅葉の季節になった。日本の古本屋対応のため、倉庫を一部屋作るべく、不用品の

処分に乗り出した。嵩張るものはすべて処分した。そのついでに、箕輪城の近くを通り、ついでに見学した。1年ぶりかと。二の丸郭馬出の城門が復興され、平日の午後というに20人ほどの観覧者がおられた。本丸入り口に箱があり、案内図が入れているが気付く人はほとんどいない。これだけの人気、これだけの巨大な規模の城跡、八王子城や太田金山城のようにガイダンス施設でもほしいと思うが、いかがなものか。高崎には新装なった群馬県立歴史博物館はあるが、高崎市立博物館はあるのかないのか。城郭博物館に期待したい。

発行所

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

379-0109 群馬県安中市秋間みのりが丘5-73

携帯電話 090-2722-4689(しろはく)

FAX 027-315-4689(しろはく)

Eメール shirohaku@kym.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.shirohaku.com/>

ミュージアムショップ 群馬県古書籍商組合加盟

博物館資料専門店

古地図と城 古書肆 城郭文庫

代表

富原道晴
